

家康公の

# あゆみ【歩】

静岡市



N

大迫力の東御門と力強く美しい異櫓(たつみやぐら)

駿府城公園 駿府城二ノ丸東御門・異櫓

Note

静岡市葵区駿府城公園1-1 ☎054-251-0016  
開園時間 / 9:00~16:30 入場料 / 大人 200円  
休園日 / 月曜日(祝日、休日はその翌日)、年末年始  
<http://www.sunpu-park.jp/gomon/>



東名高速 静岡ICより約15分

異櫓は駿府城二ノ丸の東南角に設けられた三層二重の隅櫓、東御門は二ノ丸堀に架かる東御門橋と高麗門、櫓門、多門櫓で構成される樹形門。いずれも戦闘の拠点となる大変堅固な造りが復元されている。東御門内には大御所時代の駿府城と城下町を紹介する展示、異櫓内には「竹千代手習いの間」を復元展示。



幼少期と大御所時代を通じ、実に人生の3分の1を駿府(現在の静岡市)で過ごした徳川家康公。家康公が愛し、多くの足跡を残した駿府とは一。戦国時代史研究の第一人者であり、静岡大学名誉教授の小和田哲男さんに、家康公と静岡市の深いつながりや見どころを聞いた。

## 隠居先は国堅固で美味が多い駿府へ

— 8歳から約12年間、駿府での人質時代が家康公に与えた影響は?

幼少期から家康公は「武将たるもの、強くなくてはいけない」という意識を人一倍強く持っていました。その背景には父、松平広忠が弱小だったがゆえに、わずか3歳で母と生き別れ、人質に出されたという自らの境遇への反発心があったのです。駿府で過ごした今川家の人質時代、臨濟寺(PO8)などで雪斎から教えを受ける時にも、四書五経にとどまらず『六韜』、『三略』や『孫子』など中国の兵法書も必死に学びました。耐え忍ぶ、苦しい幼少時代が家康公を我慢強くすると共に、



早く戦国の世を終わらせたいという思いへと駆り立てたのでしょうか。

— 人質時代を過ごした地ででありながら、隠居地に駿府を選んだ理由は?

ひとつには「国堅固の地」であったこと。安倍川、大井川が流れ、背後には富士山や箱根山がそびえる守りやすい地形だった。また秀忠に將軍職を譲るに際し、江戸、駿府間の約180kmという距離は江戸の政治を遠隔操作すると共に、大坂の豊臣勢が江戸へ攻め上がらないように牽制する意味でも、都合のよい場所だったのです。そして家康公が、駿府は故郷のような所と語っているように、苦しい歳月でありながらも、人質時代のいい思い出が記憶に残っていたのでしょうか。駿府の温暖な気候を好み、米や茄子、ワサビ、茶など好物も多かった。大好きな鷹狩りの適地が多い点も、決め手になったようです。

静岡市の中心にある、美しい石垣と三重の堀がめぐる駿府城公園は、徳川家康が天正13(1585)年に築城し、大御所として晩年を過ごした駿府城の遺構で、現在は東御門と異櫓(たつみやぐら)、坤櫓(ひつじさるやぐら)が復元されている。写真の場所は東御門で、巨大な梁が重厚さを感じる。

# 家康公のあゆみ【歩】



静岡市

## 土手の跡や町名に見る駿府の改造計画

— 家康にまつわる静岡市のおすすめスポットを教えてください。

家康公の祖母の菩提寺、華陽院<sup>(P24)</sup>は見どころのひとつ。人質として送られた駿府にお祖母さんがいたことは心の救いであり、幼い竹千代もしばしばこの寺を訪れていました。

また、城下町を築く際に安倍川の流れを変えた治水工事の跡、薩摩土手も必見です。川の流れを変え、土地を平坦にして「駿府九十六ヶ町」



薩摩土手(葵区井宮町妙見下～駿河区中野新田)

と称される町割政策を行うことで、家康公は町を発展させ、現在の静岡市の基盤を築きました。後の戦災や大火で城下町の面影は残されていませんが、茶の商人を集めた「茶町」<sup>(P14)</sup>など、今なお残る町名から当時の城下町を想像するのも、町歩き醍醐味です。

— 2014年春には坤櫓の復元が完了し、駿府城公園も話題ですね。

坤櫓は富士山が美しく見通せる角度にあり、家康公もお気に入りの場所だったようです。また、駿府城の特徴といえば二ノ丸水路。この水路は



巴川と合流して清水までつながっているため、清水港に集まる荷物を米蔵などへ運び込んでいました。また石垣の随所には、築城の際に諸大名らが証として彫った家紋などの刻印が残り、歴史を感じます。最後

はぜひ家康公の銅像へ。貫禄たっぷりに見えますが、実は家康公は身長158～159cm程度で体重70kgの小太り体型だったようです。死の直前まで鷹狩りに出かけたという記録が残るほど、バイタリティ溢れる家康公の姿を想像しながら記念撮影するのも楽しいですね。



**N** 静岡大学名誉教授・文学博士 小和田哲男さん

**Note** 1944(昭和19)年静岡市生まれ、早稲田大学大学院文学研究科博士課程修了。戦国史が専門で、多数の著書を執筆。NHK大河ドラマ「秀吉」「天地人」「江～姫たちの戦国～」などで時代考証を担当したほか、テレビ番組や講演会など多方面で活躍。



坤櫓から富士山を見る



二ノ丸水路



翼櫓